

日本OR学会賞

2016年度学会賞のうち、業績賞・普及賞・実施賞・感謝状について、表彰委員会で選考のうえ、理事会にて以下のとおり承認されました。

各賞は2017年3月15日の春季研究発表会—創立60周年記念大会—（沖縄県市町村自治会館）にて授与されました。

第18回 業績賞

● 水野眞治 氏（東京工業大学）

【選考理由】

水野眞治氏は、数理最適化分野における最先端の研究を行い、当該分野を代表する世界的な研究者として研究活動を牽引してきた。特に、線形計画問題の理論とアルゴリズム、さらにその応用に関する優れた論文を執筆し、OR学会文献賞、INFORMS Frederick W. Lanchester Prize, 日本IBM科学賞（コンピューターサイエンス分野）などを受賞した。また、「内点法」など、大学生・大学院生を対象とする著書を執筆された他、ICCOPT2016の委員長を務めるなど、ORの研究普及活動にも尽力した。

● 大澤義明 氏（筑波大学）

【選考理由】

大澤義明氏は、都市・地域・環境の課題に対してORを含めた計量的アプローチを通して分析・解決する研究を中心に、幅広い分野における実践的応用研究を数多く発表してきた。研究テーマは、立地論、空間競争、地域人口推計、公共施設配置、住民投票の効率性等多岐に亘っており、最近では公共施設マネジメント、インフラ維持管理、地方創生、震災・水害復興等にも領域を広げている。これらの研究は高く評価され、本学会文献賞、日本都市計画学会論文賞、日本計画行政学会学術賞論文賞などを受賞した。

第42回 普及賞

● 山田 茂 氏（鳥取大学）

【選考理由】

OR分野において、ソフトウェア信頼性工学の理論と実践に基づいた研究と普及に尽力された。特に、ソフトウェアを中心とした、信頼性工学、品質管理、プロジェクトマネジメントについて国内外で広く研究。学会内では、論文誌編集委員、評議員、代議員、中国・四国支部支部長等を歴任され、学会の活性化とORの普及に大いなる貢献をされた。

第41回 実施賞

- 九州大学 マス・フォア・インダストリ研究所 富士通ソーシャル数理共同研究部門
(部門長：吉良知文)

【選考理由】

2014年9月に九州大学マス・フォア・インダストリ研究所に設置された富士通ソーシャル数理共同研究部門では、人間の行動や心理をモデル化し、より広範な社会的課題を適切に解決するための数理技術の開発に取り組んでいる。データ活用技術と、経済学・心理学などの社会科学研究を融合して研究を進め、社会システムの設計技法の確立、およびその社会実践をおこなっている。現在、公表できる活動成果として6件の成果がある。このように、ORの実践に関する多くの成果を取っており、実施賞に値するものである。

日本オペレーションズ・リサーチ学会 感謝状

- 中国電力株式会社
- 富士通株式会社

【選考理由】

OR学会創立以来60年の今日まで「賛助会員企業」として、学会活動を支援して頂いたことに感謝し、2社に感謝状と記念品を授与した。

【2016年度表彰委員】

山下英明 (委員長・首都大学東京), 村松正和 (副委員長・電気通信大学), 猿渡康文 (筑波大学), 塩浦昭義 (東京工業大学), 鈴木勉 (筑波大学), 関谷和之 (静岡大学), 滝根哲哉 (大阪大学), 土谷隆 (政策研究大学院大学), 西川武一郎 ((株)東芝)